

IT 時代の生涯教育

生涯教育では，IT 時代をリードする教育を通して
ヒトのココロを育て，信頼性豊かな「IT 社会」の
実現を目指す

片柳 健

[0] はじめに

IT 時代をリードする教育では，大学や短大を卒業した後も，生涯教育を通して自己研鑽を続けることが求められる。即ち，大学や短大を卒業した後も夜間大学，夜間大学院，通信教育大学，放送大学，及び TV の教育番組等の生涯教育機関を利用した，IT 教育を受け続けることにより，高い教養を身につけると共に，ヒトとヒトとのココロが深い信頼関係で結ばれた「IT 社会」，即ち理想の「オンライン共同体」としての社会を実現することができる。

[1] 東京工芸大学において

現在，私は東京工芸大学を含め，いくつかの他の大学を卒業した後，縁あって東京工芸大学の教育に関り，デザイン，デッサン等を教え始めてから，5 年目になる。この勤務経験を生かして，これからの生涯教育の動向を取り上げて見ようとする。

東京工芸大学は，東京写真大学（愛称で写大ともいわれた）を前身とし，1977 年 4 月に改名された大学であり，東京工芸大学女子短期大学部を含めて学校法人東京工芸大学として登録され，工学部，芸術学部，女子短期大学部から構成される総合大学である。工学部には，光情報メディア工学科，画像工学科，応用化学科，建築学科，電子情報工学科があり，さらに大学院工学研究科には，工業化学専攻，電子工学専攻，建築学専攻（博士前期・後期博士課程），光工学専攻，画像工学専攻（修士課程）が含まれる。芸術学部には，写真学科，映像学科，デザイン学科，メディアアート表現学科があ

り、さらに大学院芸術学研究科には、メディアアート専攻（博士前期／博士後期課程）、さらに芸術別科（写真技術専修コース）から構成されている。なお、前記東京工芸大学女子短期大学部では、昨年から従来の秘書科がビジネス情報学科に改名された。

私が通学した頃の東京写真大学の厚木キャンパスは、何もない平地に校舎が建っているだけであった。当時の大学への通学用のバスの本数も少なく、かつ学部が工学部だけの大学であったため、今と違って女子学生が非常に少なかった事が記憶に残っている。

[2] 21 世紀の生涯教育としての夜間大学

夜間大学（二部教育）は大学に行けない勤労学生及びリフレッシュを希望する社会人等に高度の教育を学ぶ機会を与える為に設けられた。二部教育の伝統と歴史は、歳月の経過とともに変化を成し遂げ今日に至っている。教育環境の改善をはじめとして二部教育充実のための種々の努力が注がれてきた。しかしながら、近年の少子化をはじめとする諸条件の変化によって、勤労学生を主な対象として昼間部と同一内容・同一水準の教育内容を教授していくことを理念とする現行二部制度の維持がますます困難になってきた。現行二部の廃止に伴う大学がこれから増加する。夜間教育の継承については、昼夜開講制を軸とするフレックスな授業計画を導入する方向性を模索する大学が増えている。

[3] 夜間大学院の動向

現在は、都市型の大学院が中心となって、夜間の大学院が社会人向けに急増している。

このように社会の著しい進展および多様化にともない、これらリカレント教育、リフレッシュ教育などの生涯教育に対してより適切に対応するための方策が、さらに種々検討されるだろう。夜間大学院を開設している夜間大学について述べる。

①明治大学は、有職の社会人の履修上の便宜をはかるため、博士前期課程に於いて、商学研究科の、「夜間・土曜」開講制を開設した。さらに、政治経済研究科及び経営学研究科（マネジメントコース）でも、夜間のみの履修で修了要件を満たすことができるよう、授業科目が配置されている。

②古くからある夜間大学院としては、法政大学大学院があり、同大学院は、「高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、栄誉ある学芸の殿堂としてひろく世界の文化を摂取し、知識の深奥を究め、もって世界平和と人類の福祉に寄与すること」を目的に 1951 年に開設された。その後、拡充発展の道をたどり、現在では人文科学・社会科学・工学の 3 研究科に 17 の専攻を擁している。経済学・政治学・経営学・政策科学専攻の修士課程及び経営学・政策科学専攻の博士後期課程では、社会人を対象にした夜間開講の大学院を開設するなど内外からの注目を集めている。また、主に実務経験を有する者を対象に 1 年制の IT プロフェッショナルコースである電気工学専攻・修士課程の教室が市ヶ谷に設けられている。

また、前記 17 の専攻のうちの、法律学専攻では、若き法曹を養成する法曹コースも開設されている。

法政大学大学院は、人文科学研究科の日本史学専攻修士課程が、1952 年に日本で初めて開講された夜間大学院でしたが、2000 年度より人文科学研究科全専攻の修士課程が昼夜開講制となり、広く社会人に門戸を開いている。なお、博士後期課程の研究指導は昼間に行われている。

社会科学研究科では、各専攻修士課程において社会人向けの夜間大学院を開設している。

これらの専攻を修了すると修士の学位が授与さる。なお、HSE は修士（経済学）、HPS は修士（政治学）、HBS は修士（経営学）、HPSci は修士（政策科学）である。

授業は平日の 18 時間 30 分から 21 時間 35 分および土曜日の 9 時 20 分から 19 時 50 分に行われ、通常は週 2～3 日の通学でよく、仕事に大きな負担をかけることなく修了することができる。また、学期は学びやすい前期・後期の 2 セメスター制であって、ビジネスに欠かせない実地研修や専門家を呼んでのワークショップには定評がある。

IT プロフェッショナルコースは、情報技術者への転換教育であり、これまでの産業が低迷する中で、IT 産業は非常な勢いで拡大しており、その人材は世界的な規模で不足している。これまでの経験を生かしながら、情報科学・工学の基盤を確立するとともに、先端的な分野についても学ぶことで、IT 分野での高度な専門的な技術者を育成することができる。

IT プロフェッショナルコースは、1 年制の修士課程で、主に社会人を対象としている。春と秋の学期は午前中に講義科目が、また、夏には集中講義が設定されているため、働きながらの履修も可能である。これまでの修士課

程がどちらかという研究指向であったのに対し、IT プロフェッショナルコースは、実務的な教育を目指している。講義科目は演習と一体となっており、従来の修士論文に代えて開発型の IT プロジェクトを行っている。

③一時話題になった筑波大学大学院の教育研究科及び経営・政策科学研究科が設立されたときは、国立大学で夜間大学院を設置したこと、及び高倍率になった事で、新聞などの記事で取り上げられた事がある。人々は、生涯を通して自らを研鑽することが必要になってきた。筑波大学大学院は、こうした動向を先取りし、来るべき生涯学習社会に対応して、一般社会の個々人の能力開発に資するために、専ら夜間において修学する新しい形態の大学院を、東京地区に設置した。

④青山学院大学大学院の国際政治経済学研究科の国際ビジネス専攻なども MBA の関連から話題になった。各専門分野における学問・知識や技能は、いまや、大学での 4 年間では十分に学びきれないほど多岐にわたり、高度でかつ奥深いものとなっている。

大学生が巣立っていく現代の社会は、いまや、高度情報化・知識社会であり、そこで十分な活躍をするためにも、大学院へ進んで、大学で学んだ知識・技能をさらに発展・充実させ、知的能力を磨き、鍛えたいという希望とニーズが高まっている。これは、将来のキャリアとして、学問・研究の道へ進みたい人にも、産業社会で高度専門職業人として活躍したい人にもいえることである。

青山学院大学には、国際政治経済学部で学習した知識・技能を基礎として、大学院へ進学したい人のための進路として、国際政治経済学研究科と専門大学院・国際マネジメント研究科（2001 年 4 月開設）がある。

いずれも、授業が夕方にも昼にも配置される昼夜開講制で、職業に従事しながら勉学している職業人院生やフルタイムの院生が机を並べて学び、また、チーム編成で取り組むプロジェクト研究に従事し、熱心に議論し、高度の専門知識を究めている。

⑤さらに、桜美林大学大学院には夜間の大学院が 2001 年に国際研究科の大学アドミニストレーション専攻や言語教育専攻の授業が開設された。新宿キャンパスでは、教室の講義を新宿駅から歩いて 3 分で行けると言う利便性のあるサテライト教室で行なうため、仕事帰りには大変便利である。具体的には、平日夜間・土曜昼夜に開講し、通学する人のために「学び」と「仕事」が両立できるように、可能なかぎりの便宜を図っている。

[4] 通信教育課程を置いている大学の動向

歴史的な通信教育システムが、1947年に制度化され、1950年に認可されて50余年を経過している。現在では23大学（放送大学を含む）、8大学院（放送大学を含む）、10短期大学が通信教育を実施している。

入学時期は、4月入学と10月入学の2つの入学時期が用意されているので、思い立ったときに入学することができる。入学形態は、正科生と科目履修生という2つの入学形態が用意されているので、自分の入学目的に合わせて入学形態を選択することができる。

慶応義塾大学、法政大学、中央大学、仏教大学、近畿大学、玉川大学、東洋大学、明星大学、大阪学院大学、創価大学、産能大学、愛知産業大学、京都造形芸術大学、帝京平成大学、北海道情報大学、聖徳大学、大阪芸術大学、日本福祉大学、武蔵野美術大学等のいくつかの実例を挙ることができる。

①慶應義塾大学通信教育部は、福澤諭吉の創業の精神に則り、独立自尊の人格を育成し、精深な学術の理論と応用とを研究教授して、広く社会の先導者を養成すると共に文化の発展に貢献することを目的にしている。

慶應義塾の起源は、1858（安政5）年に福澤諭吉が江戸築地鉄砲洲に開設した蘭学塾である。それ以来連綿と続いた慶應義塾は1948年、文学部・経済学部・法学部の通信教育課程を開設し、同年夏わが国の大学通信教育で最初の夏期スクーリングが行なわれた。慶應義塾が法政大学と共に大学の通信教育課程を最初に設置したことは、福澤諭吉が明治維新の混乱の時期に時代を先取りして学塾を作らせ、その進取の精神が脈々と生き続けているためである。

学習方法が基本的に通信手段によるという違いがあるだけで、所定の単位を修得すれば通学課程の学生と全く同じに、慶應義塾大学の卒業生として「学士」の学位を取得することができる。

②法政大学の通信教育部は、50年の歴史を有している。この50年の間、通信教育はその時々の変化に合わせて対応し、重要な役割を果たしてきた。

前半の25年においては、大学への進学率は上昇傾向にあったとはいえ必ずしも高くはなく、通信教育は全国の勤労学生に勉学のチャンスを広げ、大学教育の普及という点できわめて重要な役割を果たした。そして、後半の25年になると、経済の高度成長の結果、所得水準が一般に上昇し、大学へ

の進学率もかなり高くなった。現在でも勤労学生に勉学のチャンスを与えることは依然として重要であるが、通信教育に対する新しいニーズが拡大している。

すなわち、とりわけこの10年、生涯学習に対する意欲がかなり高まっている。社会の変化が速く、しかもかつて経験しなかった新しい現象が次々に生じている。経験のみに依存して判断することが困難になっているとすれば、基礎的な勉強をあらためて行うしかない。

そこで、初めて大学の教育を受ける、かつて大学で学んだけれどもあらためて学び直す、幅を広げるために他の専門分野の勉強をする等々、多様な教育ニーズが生じている。こうした生涯学習の場として、いま通信教育はあらためて重要性を増している。

このように、通信教育のあり方が変わりつつあるなかで、法政大学では、こうした変化に可能な限り対応しようとしている。

将来的には、インターネットを活用した遠隔教育、大学院教育なども実現していくことになろう。法政大学の通信教育は設立50周年を機会として、より一層の高度化をはかるべく努力している。

③中央大学法学部通信教育課程では、だれもが気軽に参加できる、より開かれた法学教育をめざしている。わかりやすく、柔軟で親しみやすいカリキュラムを編成し、パソコン通信やホームページなどのマルチメディアの活用も積極的に導入しようとしている。教育がオープンであること、そして大学もまたオープンであることが要請されており、中央大学法学部通信教育課程は、だれもが学べるオープン・ユニバーシティをめざしている。

④仏教大学では、鎌倉仏教の先駆者法然上人の精神を、広く社会に知らしめるために開設された大学である。1867年の勧学院以来幾度かの変遷を経て、1912年、専門学校令による仏教専門学校となった。1949年、新学制による仏教大学が設立された。

以来、仏教大学は、使命である仏教精神により、人格識見高邁にして活動力ある人材を養成し、世界文化の向上、人類福祉に貢献せんことを目標に邁進している。

通信教育部は1953年、関西の諸大学に先駆けて開設され、広く勤労学生のために勉学の場を提供してきた。今日では、文学部、教育学部、社会学部に9学科を開設するとともに、1999年度からは、大学院を開設した。

学びたい人が仕事と両立させながら、生涯を通じて学べるシステムである。また、個々の事情で大学に通学できない人々を地理的、時間的な制約か

らできるだけ解放しようという理念に基づいた大学教育として、通信教材による授業とスクーリングによる授業があり、生活に合わせて柔軟に学習計画を設計することができる。

⑤近畿大学通信教育部は、創設者、世耕弘一の「教育の目的は、人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成することにある。そこで勉学する者も教える者もこの気持ちを忘れてはならない。近畿大学では学術の奥義、専門の技術を修得せしめると共に、特に人格の向上に重きをおき、そして文化人として、家庭人として、国家や、社会や、一家の中心人物として活躍できる人物を養成することにある。」という教学の方針をモットーに広く職場・家庭に大学を開放するため開設された。

⑥玉川学園は1929年、わが国新教育運動の先駆者小原國芳により全人教育の理念をかかげて創設され、1947年に玉川大学が誕生し、通信教育部は1950年に設置された。

「全人教育」とは、「学問・道徳・芸術・宗教・健康・生活の6分野にわたる人間文化を調和的に豊かにする教育」のことであり、玉川学園の〈個性的な人格教育〉は、わが国でもユニークな存在である。

玉川学園の通信教育課程で学んだ人はすでに約20万人で、多くの方が教員免許や資格を取得して全国で活躍し、それぞれが社会的に高い評価を得ている。

⑦東洋大学では〈諸学の基礎は哲学にあり〉の基本理念の元に井上円了が哲学館を創設した。翌年には早くも「哲学館講義録」を発行し、開かれた学舎として館外への学問の普及に尽力した。

本学通信教育部はこのような学風と伝統のもと、1964年に文学部国文学科、1966年に法学部法律学科を設置し年齢層を問わぬ生涯学習の場として、きめ細やかな教育と指導を行なってきた。東洋大学は向学心に燃える人々を応援し、共に学ぶ仲間となることを歓迎している。

⑧明星大学は、70余年の歴史を有する学校法人明星学苑を母体として1964年に創設された。現在、理工学部5学科、人文学部4学科、情報学部2学科、日本文化学部2学科、通信教育部、ならびに大学院10専攻を擁する総合大学としてめざましい発展をしている。通信教育部は、教育の機会均等の理念実現のため、大学教育を一般社会に開放することを目的として、1967年に設立された。通信教育部が提供する学部学科は、人文心理教育学科であり、それは、教育界に多様で個性的な資質優秀な教師を輩出するためである。さらに、その専門性を高めるために、1999年に通信教育の大学院が開

設された。

⑨大阪学院大学は、初代総長白井種雄が、1940年に創設した関西簿記研究所を母体として、1968年に設置された。以来「建学の精神」に則り、学部の整備、拡充に努め、現在、流通科学部、経営科学部、経済学部、法学部、外国学部、国際学部、情報学部、企業情報学部の8学部と大学院を有する総合大学として、「視野の広い実践的な人材」の育成に励み、多くの有為な人材を社会に送り出している。

通信教育部（商学部商学科）は、大学教育を受けたいという旺盛な意欲を持ちながら、進学する機会がなかった人たちに対し、勉学の機会を広く提供することを目的として、1970年に開設された。現在では、社会人の再学習・生涯教育の場を提供するといった役割もはたしている。

⑩創価大学は、創価学会名誉会長池田大作により、1971年に創設された新しい教育理念に基づいた大学である。創設者から提唱された三モットー、人間教育の最高学府たれ、新しき文化建設の揺籃たれ、人類の平和を守るフォートレスたれに基づき人間教育を標榜しているところに創価大学の特色がある。

通信教育部は、1976年に開設。以来働く青年のために、そして社会のより多くの人達のために学問の門戸を広く開いてきた。豊かな教養を身につけ、新しい文化の興隆、人類平和の確立に貢献し得る有為な人材の育成を目指している。

⑪産能大学は、科学的管理法の研究者で、「能率の父」といわれている上野陽一が1925年に創立した日本産業能率研究所が前身で、1942年に設立の日本能率学校を礎に1950年に産業能率短期大学となり、1979年には経営学と情報学の融合による教育研究を通じて情報化社会に貢献することを目的として、わが国で最初の経営情報学部を開設した。

過去70年に及ぶ産業教育・マネジメント教育の実績を基に、広く情報化社会の要請に応えるべく幅広い教養と高度の技術を身につけた人材の育成に努めるとともに、産学協同のもと実践的な教育研究を推進してきた。

1995年、経営情報学に関する教育研究の成果を広く社会に開放するとともに、生涯学習とリフレッシュ教育の進展に対応するために通信教育部を開設した。

⑫愛知産業大学は、愛知県岡崎市の南東に位置し、総面積58万m²を有する広大なキャンパスである。

実学重視の長年の私学教育実績と伝統を基に「あなたの生涯学習を応援す

る」をモットーに通信教育部を開設し、生涯学習機関として大学の門戸を広く開放している。受講生は、ビジネスマン、主婦、公務員そして専門学校生と多岐にわたり、年齢も18歳から60歳を越える人々までが在学中である。

実践力の養成、各種資格取得をも視野に入れたカリキュラム編成により、手作りの教育を目指している。学習会、オープン教室等を実施するとともに、インターネットによる質問も受け付けている。

⑬京都造形芸術大学通信教育部は、プロフェッショナル指向の人、生涯教育の場を求めている人、パーソナルな大学教育を求めている人など、さまざまな社会に生きる、すべての芸術をめざす人々に開かれた大学を目指し設立された。

京都造形芸術大学通信教育部では、「キャンパス」という物理的な場所を共有しにくい通信教育生のためにインターネット上の「サイバーキャンパス」を利用して学生どうしの交流を深めることや、一部課題の提出などができるように成っている。

⑭帝京科学技術大学は、1987年に創立され、1995年に帝京平成大学と校名変更された。1999年に経営情報学科通信課程が設置された。

帝京平成大学は、情報化社会に対応する人材を養成するため創立された。以来、「実学の精神を基とし、幅広い知識と、専門分野における実践能力を身につけ、世界に向かって、時代の先端を行く情報学の発展を担う、創造力豊かな逞しい人材を養成する」という建学の精神に基づいた実学教育に努めている。この本学の理念である実学教育をより広範に行い、社会に開かれた大学として、マルチメディアビジネス社会に相応しい人材の養成、社会人のリフレッシュ教育も含めた生涯学習への対応の視点から1999年、通信教育課程が開設された。

⑮北海道情報大学は、1989年に創立され「豊かな知性と国際感覚並びに応用的能力を兼ね備えた創造性溢れる有為な人材の育成」を建学の精神とする情報系の大学であり、実学教育を特徴としている。通信教育部は、1994年に創設され、我が国で初めて「経営情報学」の通信教育部を開設した大学である。一人でも多くの人に教育の機会を創出するとともに生涯学習のニーズに的確に対応すべく社会に開かれた大学を目指している。

⑯聖徳大学短期大学通信教育部は、学園設立以来、一貫して女子教育、幼児教育の重要性を唱え、幼稚園教員養成に長い伝統を持つ聖徳学園の実績をもとにして創設された。

学園創立者の川並香順の教育に対する理念は、聖徳太子の「和」の精神に

基づいており、保育に関する専門的知識と技能を学び、明日の社会を担うようき幼児教育者の養成に努めている。

また、1994年度より通信教育部に専攻科保育専攻が開設され、1999年度より全国で初めて通信教育の大学院が開設された。

さらに、2001年より人文学部に通信教育部が開設され、通信教育部は通学せずとも勉学したい人々への支援を行なう事ができる。

⑰大阪芸術大学は、1945年に創立者塚本英世によって創設された平野英学塾を母体とし、翌年浪速外国語学校、1951年に浪速短期大学へと発展した。一方1957年に大阪芸術学校が開校され、その芸術教育が発展し、1961年に浪速芸術大学が開学された。その後、1966年に校名を大阪芸術大学に変更し、1967年からは、ほぼ2年ごとに2学科の増設を進め、現在の芸術学部14学科を有する日本でも有数の総合芸術大学へと発展した。

2001年に、芸術における多彩な分野を網羅する10学科15コースを通信教育課程として開設した。

⑱日本福祉大学は、日本で初めての、社会福祉学部を持つ4年制大学として、福祉人材の養成をどこよりも先駆けて行ない、卒業生を4万人以上排出してきた伝統ある大学である。本学の創始者鈴木修学が、みずからの福祉施設を維持していく過程で、恵まれない人々をケアする専門の人が圧倒的に足りないことに気付いたことが大学設立のきっかけとなった。今では、社会福祉学部2学科、経済学部2学科、情報社会学部、通信教育部、そして大学院3専を擁する総合的な大学として発展し続けている。尚、2001年に通信教育部が新設された。

⑲武蔵野美術大学は、武蔵野美術学校、次いで武蔵野美術短期大学を経て設立された大学であり、造形を「学び、学び続ける」ための開かれた大学である。初期の通信教育は、1951年の武蔵野美術学校において開設され、1959年には、武蔵野美術短期大学が通信教育部を開設された。

そして、2002年4月、いよいよ4年制の造形学部通信教育課程がスタートし、造形学部の総力が結集して、先進的な造形教育を展開するようになった。さらに、各分野の第一線で活躍する美術家やデザイナー、研究者を教員に招聘するなど、ネットワークを大きく広げ、武蔵野美術大学造形学部通信教育課程は、新たな「学び」の時代、新たな社会的ニーズに応じ得る本格的な造形の大学教育の場として出発しようとしている。

「まとめ」として、通信教育は、直接教師と接する時間が少なく、夏のスクーリングも仕事を持つ学生にとって困難が多い。そのため、学生同士のコ

コミュニケーションも教師と学生のコミュニケーションも十分に行き届いていないということが、現状ではないか。eメールやインターネット或いは旧来からの学習会でいくらか補うこともできるが、知識だけでなく本当のヒトとヒトとのココロの結びついたコミュニケーションは困難がある。まして、信頼関係となると卒業後、付き合いの中で出来れば良い方ではないかと考える。従って、深い信頼関係に基づく教育ができず、単に知識をつめ込むだけの教育となりそのことにより生ずる問題が山積しているのが現状ではないかと考える。

将来、IT教育が、パソコンの中の映像で講義を受けることが出来ることを切に希望する。そうすれば、授業に出席しなくても、パソコン上から講義を受けて知識を享受することができるのではないかと考える。しかし、本当はココロを伝えることを目標したいものである。

[5] 放送大学大学院における通信教育

現代社会は、技術革新やそれに伴う地球環境破壊に対処するために、社会構造の変化が必須のものとなり、高度専門職業人の養成や社会人再教育のための機会の提供を行う大学院の設立に関する社会的要請が高まっている。しかし、実際には、大学院レベルの教育を希望しながらも、地理的・時間的な制約から大学院教育を受けることが困難な社会人も少なくない。放送大学は、放送を利用した公開の大学としての特色を生かし、生涯学習の中核的機関としての16年に亘る実績の上に、このような時代のニーズに適切に応えて、高度専門職業人の養成や社会人再教育のための機会提供などを目指した通信制大学院を設置し、時代の要請に応えたいと考えている。

そのため、1998年度より社会のすべての人々に開かれた通信制大学院の設置の検討を始め、2000年6月に文部科学省に設置認可申請を行い、同年12月末に設置認可を受け、2001年に放送大学の丹保憲仁を学長とする、大学院を設置することができた。

放送大学大学院は、21世紀を生きる高度専門職業人に不可欠な、総合的教養学に裏づけられた高度な専門的な学識及び知的技能の修得を、職場や生活の場を離れることなく学ぼうとするところである。

放送大学大学院では、現代の知の最先端を踏まえつつ、急激な国際化の時代に適合した柔軟かつ実効的な教育を行うところである。そのため、文化科学研究科文化科学専攻に「総合文化」、「政策経営」、「教育開発」、「臨床心

理」の4つのプログラムを設けて教育が進められる。これらの4プログラムでは、人文・社会・自然科学の分野の実際的・複合的アプローチによる分析と総合能力の育成、学校教育等の公共機関、NPO・NGO、企業などにおける実践的なマネジメント能力の育成、「こころの専門家」である臨床心理士の養成などが行われる。

放送大学大学院の放送授業は、テレビまたはラジオで毎日放送され、全科目に用意されている印刷教材を併用することで、自宅で学習を進めることができる。また、全国に50ヶ所設置されている学習センターは、単位認定試験の受験や放送教材の再視聴、調査研究に必要な文献資料の閲覧、貸出し、本部図書館の各種サービスを利用するなど、いつでも学習のために利用することができる。

これから大学院レベルの授業を受けたい、修士号を取得したい、仕事に役立つ専門知識や技能を修得して職業的能力を向上させたいなど多くの人々の要望に答えることを目的としている。

放送大学大学院の理念は、高度情報化と地球規模での国際化が進む現代社会においては、より高度で実践的な専門知識と能力が求められており、高度な専門職業人養成のための大学院レベルの生涯学習の場が、期待されている。放送大学大学院は、このような現代の社会的要請に対応するため、職場や生活の場を離れることなく、総合的教養に裏づけられた高度な専門的学識及び知的技能を修得できる大学院教育を提供するとともに、キャリア・ディベロップメントに資する教育を行う「開かれた大学院」を理念としている。

特徴としては、放送大学大学院は、広く社会に開かれ、時代の要請に応じ得る体制を速やかに組み立てられるよう、1研究科「文化科学研究科」・1専攻「文化科学専攻」の下に、現代の社会的要請に対応した柔軟な4つの「プログラム」を設けている。「総合文化」、「政策経営」、「教育開発」、「臨床心理」の4つである。教育指導の方法は、放送授業番組と印刷教材を中心とした自宅学習によって行われる。学期の途中に「通信指導」を受けて合格した方は「単位認定試験」を受けることができる。「研究指導」は、対面による直接指導または、テレビ電話、電子メール等による間接指導を受けることができる。

[6] 現状の教育メディア

放送教育メディアとして、NHK 教育テレビの講座やパーフェクト TV 教

育番組を使った一斉放送により学ぶことができる。

現在、NHK の教育テレビの語学講座などで、CD による音の講座があり、テキストと CD で語学講座の授業を聞くことができる。この講座が幾つかビデオにもなっている。

例えば、基礎英語 1・基礎英語 2・基礎英語 3・英会話入門・とっさのひとこと英会話・3 か月英会話・中国語・韓国語などのビデオが出ている。

さらに、NHK 大学講座を経て、NHK 市民大学そして、現在の NHK 人間大学など全国の著名な教授による講座を見ることができる。

既に、パーフェクト TV による「放送大学」や「東亜大学」の放送、「ケイコとマナブ Channel」では、マイクロソフトの Word や Excel, PowerPoint, Access, Illustrator, Photoshop のパソコンのソフト操作講座や英会話としての「GLC 24 時間英会話」、幼児から大人まで、すべての年齢を対象にした、世界初の 24 時間英会話講座専門チャンネル等がある。この英会話専門チャンネルでは、世界の一流の英会話教育の専門家が制作し、世界各地で高い評価を受けたプログラムを厳選してお茶の間へ届けられる。

例えば、「InstrucTV」中 1・中 2 講座は、全国の中学生在が学校で使っている英語、国語、数学 15 種類の教科書別「予習・復習」講座であり、中 3 講座は、志望校合格のための「高校受験」講座であり、これらの講座はいつでも教科書にそった学習が可能である。

「東進チャンネル 1・2」は、全国 50000 人の高校生が通う東進で、圧倒的な支持を受けている一流講師陣の授業を提供している。履修開始時から学習プランをアドバイスし、一流大学の先輩達が電話で質問に答えるので無理なく確実に実力がつく。特に東進のチャンネル 2 は、中学生対象の塾 TV と、一般人向けの英語 TV の二つの番組を提供している。塾 TV は補習と受験に対応する、各自専用の家庭教師の役をしており、英語 TV は、TOEIC・TOEFL・英検の 3 資格の対策講座など、国際化時代の英語力の開発を応援するものである。

「代ゼミ TV ネット」は、受験界最強の代ゼミトップ講師陣による、高校生、高卒生のための家庭用学習チャンネルであり、代々木ライブラリーの参考書、問題集を使用し、英検・数検・漢検を受験するための有益な情報も満載している。

「コンピュータ・チャンネル」は、コンピュータ先進国の米国からの最新情報をはじめ、パソコン、インターネット、ゲームなどデジタル産業界の旬情報を満載しており、デジタル革命の今をダイレクトに提供することができる。

る。

「パソコン TV」は、日本パソコン学院アビバが提供するパソコン総合チャンネルであり、パソコン基礎講座、パソコン情報、パソコン検定対策、各種ソフト紹介など、パソコンのことなら初心者にもベテランにもダンゼン優しい番組である。

「合格チャンネル」は、難関国家試験を中心とした合格専門チャンネルであって、どのコースも指導に定評のある受験予備校の人気講師が担当する。現在、大原簿記学校の税理士講座、FP 講座、簿記講座、大原法律専門学校の社会保険労務士講座、公務員講座等を放映している。

「Q/TAC チャンネル」は、各種国家資格で圧倒的合格率を誇る「資格の学校タック」が提供する資格受験専門チャンネルであり、税理士・社労士その他の講座を開催中である。自宅で TAC の教室の勉強をすることができ、さらには、地域情報も放送されている。

[7] まとめ

教育メディアの現在及び将来について考えてみたい。現在、色々な教育番組が、放送され、ビデオ化されており、これが、ビデオテープばかりではなく、DVD がテキストと一緒にセットになって販売されており、いつでもどこでも好きなときに、テキストと一緒にテレビを見ながら、或いはパソコンのディスプレイを見ながら授業を受けることができる。さらに、インターネットによって双方向で授業を行い、テキストも、映像もパソコンのディスプレイ上から読み取ることができ、電子メールで質問することもできる。

教育メディアの将来について、光ファイバー網の充実により、通信手段の高速化がおこり、パソコンを使用して、好きな時に、学びたい授業の番組を高速で呼び出すことができるようになる。

そうすると、大学とか学校とか言う枠組み自体が無くなっていく可能性もあるように考えられる。もちろん、質問も電子メール等のやり取りで行われるようになる。

さらに、NTT ドコモの第三世代移動通信サービス (FOMA) の伝送方式を使うと携帯電話からも授業を受けることが可能となる。それは、映像と音声も双方向で同時に送ることができ、パソコンの機能が、付加されて来るからである。その場合、光ファイバーも必要がなくなり携帯端末の無線で授業を受けることが可能になってくる。

教育の未来像としては、ネットを使ってバーチャル教室を作ることができ、ビデオ、DVD、インターネット、eメールを使って、教師と学生のコミュニケーション、学生と学生のコミュニケーションを電子媒体でやり取りすることが可能となる考えられる。

しかしながら、電子媒体だけで行なう教育では、ヒトとヒトとのココロの触れ合いがなく、信頼関係のある教育が達成できなくなる。そのためには授業の他に、ヒトとヒトとの直接の触れ合いや語り合い等を通してのココロの触れ合い、例えば大学のキャンパスライフの学生同士や学生と教師との語り合い或いはコンパによる飲み会などを通してのココロの触れ合いの中から信頼関係が生まれ、尊敬の念が生まれて来るのではなかろうか。

近代的な工業社会とは、要するに、マスメディアをベースにした社会であり、端的には「放送中心の社会」であった。メディア・ビックバンの後、情報流が解放され、放送が通信と一体化していく「ネット社会」では、新たな思考・欲望・価値観が生成されていくのである。ネット社会における情報流は、工業社会の情報流とは全く異なっている。メディア・ビックバンで放送と通信が融合すると、情報はもはや、中央から周辺に向けて放射状に流れるのではなくなる。したがって、吾々人類の居住空間が従来の工業社会のままにとどまるなら、居住空間内を結ぶ、物の流と情報の流との間に巨大な空隙ができ、これがヒトとヒトとのココロを結ぶ信頼関係を基盤とするオンライン共同体の形成を阻害する恐れが生ずる。従って、サイバースペース（電脳空間）だけでは、なかなかヒトとヒトとのココロを結ぶ信頼関係を樹立することが困難になる。そのため、これからのネット社会における授業のあり方として、例えば、講義は映像と音声に限定し、講義の質問のやり取りと試験は実際に面接で行うという方法が考えられる。

つまり、サイバースペースでの交流だけでなく、そこにリアルスペースでの交流を織り交ぜること、即ち、生身の身体を介入させることで、コミュニケーションの次元を限りなくふくらませることが可能となり、ヒトとヒトとのココロを結ぶ信頼関係が確保されることが考えられる。いいかえれば、サイバースペースでは、われわれのコミュニケーションにおいては、メディアによる厳しい「制約」が課せられており、不安の多い「顔のないコミュニケーション」となると考えられる。

次のことが言えよう、IT時代は、放送と通信が融合するメディア・ビックバンであり、これまでの放送（マスメディア）によって支えられてきた工業社会のモラルや価値観は、ネット社会の到来とともに変質を迫られることに

なる。ネット社会ではヒトとヒトをむすぶ「サービス」が価値をもち、新たにヒトとヒトとのココロを結ぶ信頼関係を基盤とする「オンライン共同体」が生まれることが要請される。但し、そのためには、工業社会的な居住空間をリアルコミュニケーション又は上記したオンライン共同体の概念が組み込まれたネット社会の情報空間に改革する努力が必要不可欠と考えられる。

今後、前期 [1]～[5] の項目で説明した各大学、大学院の今後の取り組みには、上記の改革が重要な課題となるものと確信する。

また、「顔のないコミュニケーション」からの不安を解消するフェイス・ツー・フェイスの信頼関係ができた後、上記した「オンライン共同体」はヒトとヒトとのココロの通じ合ったより深い「共同体」となることが可能になると確信する。

[7] 参考文献

- 1) 東京工芸大学女子短期大学部 (<http://www.wjc.t-kougei.ac.jp>)
- 2) 東京工芸大学ホームページ (<http://www.t-kougei.ac.jp>)
- 3) 明治大学・明治大学短期大学案内 2002 年度, 2001.
- 4) 明治大学大学院案内 2002 年度, 2001.
- 5) 法政大学ホームページ (<http://www.hosei.ac.jp/>)
- 6) 法政大学 2002 年 大学案内, 2001.
- 7) 青山学院大学国際政治経済学部ホームページ
(<http://www.sipeb.aoyama.ac.jp/ja/index-top.html>)
- 8) 青山学院大学大学院 国際政治経済学部案内, 2001.
- 9) 青山学院大学大学院 国際マネジメント学部案内, 2001.
- 10) 2002 年 桜美林大学・桜美林短期大学 大学案内, 2001.
- 11) 2001 年度 筑波大学大学院 社会人修士・博士課程案内 (東京地区・夜間)
- 12) 武蔵野美術大学 造形学部通信教育課程 2002 年 4 月開設案内, 2001.
- 13) 大学通信教育部の手引き (2001 年版), 2001. 財団法人 私立大学通信教育協会
- 14) 放送大学大学院 2002 年度 大学院案内, 2001.
- 15) 西垣 通著『IT 革命 ―ネット社会のゆくえ―』岩波新書 2001.
- 16) 西垣 通著『こころの情報学』ちくま新書 1999.
- 17) 田村 明著『まちづくりの発想』岩波新書 1987.
- 18) 「FOMA」株式会社 NTT ドコモ 2001 年 10 月, 2001.